

# 令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 出納総務課  
 担当名: 財務会計制度担当  
 内線: 5730

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B2	公金収納のキャッシュレス化推進事業費			一般会計	総務費	総務管理費	会計管理費	出納運営費		
事業期間	令和 2年度～	根拠法令	地方自治法			針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	
						分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット	
1 事業概要	<p>平成31年3月から博物館等7施設でQRコード決済を、令和2年3月からは県政資料コーナー等5施設で電子マネー等決済の利用開始を支援した。令和4年度においては、キャッシュレス収納の導入を検討する課所に対するアドバイスや情報提供を行うことで、効果的で実態に即した公金収納を推進していく。</p> <p>また、電子申請サービスでのクレジットカード収納導入に伴い、財務会計システム連携のための改修を行うことで、公金収納のキャッシュレス化の環境を整備する。</p> <p>(1) キャッシュレス収納導入支援事業 △120千円                      (2) 財務会計システム連携のための改修事業 △9,868千円</p>			5 事業説明						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				<p>(1) 事業内容                      キャッシュレス収納を検討する各課所を支援するとともに、電子申請サービスでのクレジットカード収納導入に伴う財務会計システム連携のための改修を行い環境を整備することで公金収納のキャッシュレス化を促進し、県民の利便性向上を図る。</p> <p>(2) 事業計画                      ア キャッシュレス収納導入支援事業 △120千円                      キャッシュレス収納を検討する課所に対し、キャッシュレスの有識者による個別コンサルタントを実施するとともに、汎用性を高めるため、モデルケースを作成する。作成したモデルケースについて、キャッシュレス収納を検討する各課所が利用することで、本県のキャッシュレス収納を推進する。</p> イ 財務会計システム連携のための改修事業 △9,868千円 電子申請・届出サービスでのクレジットカード収納導入に伴い、決済代行会社の提供するデータを財務会計システムに取り込めるよう改修を行うことで、公金収納のキャッシュレス化の環境を整備する。 <p>(3) 今後の展開                      公金収納の選択肢拡大による県民の利便性向上や事務の効率化、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、効果的で実態に即したキャッシュレス収納を推進していく。</p>						
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	なし									
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△9,988	国庫支出金	△9,988						0	3,575
現計額	13,563		13,563						0	

## 事業内訳書

事業名	公金収納のキャッシュレス化推進事業費		
単位事業名	キャッシュレス収納導入支援事業	予算額	△ 120千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△8	—	消耗品購入費用の減
役務費	△112	—	アドバイザー費用の減
合計	△120	—	

単位事業名	財務会計システム連携のための改修事業	予算額	△ 9,868千円
-------	--------------------	-----	-----------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△9,868	—	システム改修費用の減
合計	△9,868	—	